

2024年度

NITE講座(シラバス)

科目名	事業者等における製品安全対策の基礎知識	募集定員	各1000名	開講機関 (実施方法)	製品評価技術基盤機構 製品安全センター (オンライン講座:Webex)	講義日時	11月13日(水) 11月14日(木) 11月15日(金)
科目概要	<p>近年の消費者の購買行動の変化や製品流通のグローバル化などを踏まえ、いわゆる”製品安全四法”が今年改正されました。本講座では製品安全行政、製品事故動向、リスクアセスメント、事故事例、事故調査手法等について最新情報を踏まえて解説します。本講座を受講することにより、製品事故を取り巻く最新の状況やリスク評価、事故原因分析等による事故防止対策についての基礎的かつ幅広い知識を得ることができ、企業等における設計・製造・輸入・販売時などの製品安全対策に役立てることができます。製品安全に関する最新情報をお届けする【TOPICS】枠もございます。新規ご参加の方だけでなくリピーターの方にも学んでいただける内容となっています。</p>						

科目構成	No.	講義名	講義概要	講義日	時間	開講場所
製品安全ってなんだらう？という疑問に答える基礎講座 【主な対象者】企業で初めて品質管理に携わる方など製品安全の基礎知識を習得したい方	1	【TOPICS】製品安全行政の概要と今般の動向	経済産業省製品安全課から、製品安全法令の概要(令和6年6月成立した消費生活用製品安全法等の改正内容と、細則の検討状況、法執行状況を含む)、インターネット取引における製品安全を巡る現状と課題、ポータブル電源やガストーチ等に対する安全基準の検討状況、誤使用不注意による製品事故削減への対応、製品安全優良企業表彰制度(PSアワード)、消費者向けの製品事故状況の周知・注意喚起等の取組を説明いたします。	11月13日(水)	13:30~14:30 (60分) 休憩10分	オンライン(Webex)
	2	【TOPICS】事業者の製品安全に関する取り組み	事業者の製品安全に対する優れた取り組みをご紹介します。消費者のみなさんには安全がどのように守られているかを知る機会として、事業者のみなさんにとっては自社の安全対策のヒントとしてご活用いただければと思います。		14:40~15:20 (40分) 休憩10分	
	3	【TOPICS】製品事故の最新動向	製品事故情報収集結果と最近の事故トレンドを解説します。		15:30~16:00 (30分)	
製品事故の原因はどうやって調べるの？という疑問に答える事故分析講座 【主な対象者】企業、消防、警察等で製品事故調査に携わる方で、技術的な知見を得たい方	4	電気分野の事故原因調査手法について	電気分野の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、製品事故調査のポイントを技術的に解説します。	11月14日(木)	13:30~14:30 (60分) 休憩10分	オンライン(Webex)
	5	機械分野の事故原因調査手法について	機械分野の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、製品事故調査のポイントを技術的に解説します。		14:40~15:40 (60分) 休憩10分	
	6	化学分野の事故原因調査手法について	化学分野の製品事故と原因究明の具体的事例を通じて、製品事故調査のポイントを技術的に解説します。		15:50~16:50 (60分)	
安全な製品をどうやって見極めるの？という疑問に答えるリスクアセスメント講座 【主な対象者】企業で製品の設計・開発や仕入れ業務に携わる方で、リスクアセスメントの知見を得たい方	7	リスクアセスメントの基礎	消費生活用製品を製造又は輸入する事業者には、単に法規制を遵守するだけではなく、使用者の視点に立ったリスクアセスメントを行い、より安全性を高めた製品を市場に供給することが求められています。本講座では、製品安全分野におけるリスクアセスメントの基礎を学びます。	11月15日(金)	13:30~14:30 (60分) 休憩10分	オンライン(Webex)
	8	事故事例とリスクアセスメントの実習	事故の多い製品についてリスクアセスメントの事例や、リスク低減にみるその効果を紹介し、リスク評価手法を体験していただきます。		14:40~15:40 (60分) 休憩10分	
	9	新表示制度と製品安全市場創出	製品の使用における「誤使用・不注意」に配慮した製品が市場に流通すると、社会全体の製品事故リスクが低減します。このような「製品安全市場」の創出を目指す、新しい表示制度について説明します。また、本制度の申請に際して必要となるリスクアセスメントの知識を紹介します。		15:50~16:50 (60分)	